

# 骨量測定 (DEXA) 検査を受けられる方へ



## 骨量測定 (DEXA) 検査とは

- 「骨粗しょう症の診断」のために「骨の密度 (スカスカ度)」を測定する検査です。
- 専用の装置を使用し、腰椎と大腿骨頸部 (原則、左股関節) の2か所をX線により撮影し測定します。
- DEXA 法 (Dual-energy X-ray Absorptiometry 二重エネルギーX線吸収測定法) とは? 2種類のエネルギーのX線を測定する部位にあてて、骨と他の軟部組織を区別して骨の成分だけを測定します。

## 検査にかかる時間

- 「腰椎」と「大腿骨頸部」の2つの部位で、10 ~ 15 分ぐらいです。

## 検査の注意点

- バリウムや造影剤を用いた検査のあとには、しばらく検査ができませんので、診察時に担当医師にお知らせください。
- 妊娠中または妊娠の可能性がある場合は、診察時に担当医師にお知らせください。
- 腰や大腿骨頸部 (股関節) を手術されている場合は担当者にお知らせください。

### 検査前

- ボタンやブラジャーなどがある場合は、はずしていただきます。
- 腰まわり、骨盤まわりの金属、プラスチック、シップなどをはずしていただきます。

### 検査中

- 撮影中は「息止め」はありませんが、カラダを動かさないようお願いします。
- 正確なポジショニングで行うため、カラダに触れる場合があります。

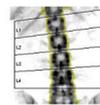
### 検査後

- 検査終了後、特に注意することはありません。
- 他の検査がある場合は飲食・排尿などに注意してください。



### 骨密度測定結果の見方

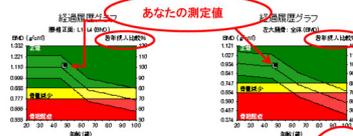
骨密度測定結果  
氏名: \_\_\_\_\_ ID: \_\_\_\_\_  
生年月日: 一般女性の場合 身長/体重 151.0 cm / 60.0 kg  
性別: 女性 47.8 歳 測定日: \_\_\_\_\_



若年成人比較  
L1~L2 = 99%  
L1~L3 = 100%  
L1~L4 = 102%  
L2~L3 = 102%  
L2~L4 = 104%  
L3~L4 = 104%



大腿骨頸部  
頸部 = 95%  
近位全体 = 99%



若年成人の骨密度の平均値を100%として、現在の自分の骨密度が何%であるかを比較した数値

測定年月日	年齢	部位	種別	BMD (骨密度)	同年齢比較 Tスコア	若年成人比較
2015/01/21	47.8	腰椎正面	L1-L4	1.129 g/cm <sup>3</sup>	105%	102%
2015/01/21	47.8	左大腿骨	全体	0.926 g/cm <sup>3</sup>	104%	99%

#### 原発性骨粗鬆症の判定基準 (脆弱性骨折無し)

- 正 常 : 若年成人の 80% 以上
- 骨量減少 : 若年成人の 70~80%
- 骨粗鬆症 : 若年成人の 70% 以下

若年成人比較 (%) が  
80% 以上 ⇒ 正常  
70~80% ⇒ 骨量減少  
70% 以下 ⇒ 骨粗鬆症

骨粗鬆症は骨量のみでは診断できません。

自己判断せずに専門医に相談しましょう。

市立戸塚病院 放射線科

